



## 動画トランスクリプト/字幕 CMEs アカデミア 体験版

この動画をご覧下さり、ありがとうございます。私の方で CMEs アカデミアの概要を簡単にご説明します。CMEs アカデミアでは、基礎理解編でシステムの学習をした後、適用編で自社導入に向けた業務方針検討や移行データ整備を行うといった流れで、短期導入の準備を進めます。基礎理解編では、皆さんに「会津精機」という CMEs 導入済のモデル企業へ体験入社していただいたという場面設定を置き、具体例を用いながら CMEs の全機能を体験していきます。では実際に、基礎理解編の一部を見てみましょう。

CMEs アカデミアのコンテンツは学習ポータルに集約されています。初級コースを開いてみます。まずは、エピソード概要という動画を見てみましょう。エピソード概要の動画で、学習のポイントを理解します。少しだけ見てみましょう。

さあ、「エピソード 1. はじめての日次処理」が始まります。テキストブックを読み始める前に、エピソードの全体像を見てみましょう。「エピソード 1. はじめての日次処理」では、会津精機で日々行われる販売・生産・購買業務の実績計上や会計処理を題材として、CMEs の基本機能を学習します。各々、どういった学習内容となるかを簡単に説明します。「受注」「出荷」「売上」のステップでは、得意先: TKG から製品である磨棒鋼の注文を受け、出荷し、売上実績を計上する流れを通して処理方法を学習します。「製造指図登録」「製造実行」のステップでは、原材料である棒鋼を切断し、半製品である棒鋼(切断後)を製造する場面での処理方法を学習します。「製造実行」の後半では、MES と呼ばれる製造の実績入力に特化した CMEs のサブシステムも登場します。製造に要した時間や不良数などの入力はこちらで行います。

体験版ではここまでとして、学習ポータルに戻ります。エピソード概要を理解したら、各業務の学習に入ります。ここでは、「受注」のテキストブックを開いてみましょう。

初級コースの「受注」のテキストブックを開きました。得意先から注文を受け CMEs へ受注登録する流れを見てみます。最初のこのページでは、学習の順番や全体像を表しています。今回は、出荷・売上の前ステップとなる、受注に関する、CMEs の処理方法を学習することになります。次のページ以降は、受注の業務概要・フローの説明に加えて、実際に皆さんがデモ環境で処理を実施いただく操作説明と、各操作で出てくる用語や考え方の解説という構成になっています。テキストブックでは、CMEs 導入企業から実際に出た質問や躓きやすいポイントごとに QA 形式の補足説明も載せています。各操作はスライド形式の説明に加え、動画も用意されており、分かりづらい画面でも、正しい方法を学習することができます。最後に、CMEs アカデミアのコンテンツ全体像をご紹介します。基礎理解編・適用編の学習や導入準備は、CMEs アカデミアの「テキストブック」を読み進める形で行います。CMEs ではマスタと呼ばれるデータが重要な役割を持ちます。テキストブックを進める過程で追加情報が必要になった場合に、辞書のような用途で「マスタガイド」を参照して下さい。基礎理解編・適用編の各ステップで、十分な学習や準備が行われ後続作業が無理なく進め荒れることを判定する目的で、「テスト」も用意されています。

2023 年 1 月にリリースされて以来、CMEs アカデミアは受講企業様のフィードバックを受けながら改善を進めています。この体験版を見て興味を持たれた方は、ぜひご連絡下さい！

Copyright © 2023 Accenture  
All rights reserved.

Accenture and its logo  
are registered trademarks  
of Accenture.